

簡単開封ラベルをはじめ 独自の開発力で軟包装の可能性を拡げる

日新シール工業株式会社



ISO 9001

ISO 14001

<http://www.nissinseal.co.jp/>



マルチドライブ方式のグラビア印刷11色機

Company Profile

日新シール工業株式会社

住所 / 〒587-0042

堺市美原区木材通4-2-11

創業 / 昭和5年

設立 / 昭和56年

資本金 / 2億5,000万円

従業員 / 145名

TEL / 072-362-5593

FAX / 072-362-6514

■主な事業内容

グラビア印刷、シュリンクラベル印刷など特殊フィルム向けの印刷および加工

■主な取引先

印刷会社、飲料会社、食品会社、生活用品会社等

平成22年2月完成予定の新工場



当社のセールスポイント

価値ある企業像を見据えながら、お客様に感動を提案し続けます。



代表取締役
堀川 昇さん

大量生産・大量消費にとらわれ競い合うことに終始するより、独自のものを生み出し発信することも我々の使命。積極的に商品開発を進める中で、ユニバーサル化と環境への配慮は大事なファクターです。その具現化に向け、さらなる技術開拓と設備拡張を図り、お客様に感動を提案し続けるビジネスパートナーを目指していきます。



NS-EOS (簡単開封収縮ラベル)



ニーズの変化に呼応する 総合軟包装コンバーターとして

ペットボトルやカップ容器などの包装で活躍するシュリンクラベルは、熱収縮フィルムに多色印刷を施し、どんな形状にも収縮装着できるのが特徴。商品イメージを表現するデザインやカラー、感触などで個性が競われるとともに、製作工程にも高度な技術ノウハウが必要な分野だ。日新シール工業は、シュリンクラベルをはじめ包装フィルムの企画・印刷・加工を通して技術を提供し、包むことで商品に生命を吹き込んでいく。

近年、環境への配慮からパッケージの薄膜化・小型化が進み、求められる機能や性能が大きく変わってきている。同社も、社会環境やニーズの変化を踏まえた、総合軟包装コンバーターとして新たな商品の開発に取り組み。平成18年には、パッケージの可能性を探るための商品開発研究センターを開設した。

「摘んでめくる」だけの 簡単開封ラベルを新開発

同センターの開発品第1号が、「NS-EOS (イージー・オープン・シュリンク)」。摘んでめくる、あるいは摘んで引き裂くこの簡単開封収縮ラベルは、麺類のパッケージなどを開封する際、ミシン目の切り口で手指を傷つけやすかったことに着目した商品だ。難加工な易剥離コーティングを0.5mmレベルで塗工する技術を確立することで、これまでにない簡単開封ラベルを実現。子供や高齢者だけでなく、ネイルアートをしている女性にも開けやすいようにと、研究員はつけ爪をしながらテストを繰り返したと言った。



NS-KTN (防汚機能コーティング)

環境負荷を抑えた 生産拠点も新設

その他、液体にも使え安定した自立性をもつ箱型パウチ「NS-IBXP」、応用範囲の広い防汚高機能コーティング「NS-KTN」など次々に開発商品を生み出し、販路開拓に力を注いでいる。

平成22年に完成する新工場では、環境への負荷を低減するためVOC (揮発性有機化合物) 処理装置を導入し、循環式エネルギーとして電気利用する。印刷インクも可能な限り再利用し、廃棄物の減量化を徹底するなど、地球温暖化と環境に配慮した生産拠点を目指す。「見通しの難しい時代だからこそ、前向きに設備投資をするかどうかで3、4年後が変わってくる。停滞しては何も始まらないのです」と語る堀川社長。設備拡張に伴い、包装や印刷の枠にとらわれない事業展開も視野に入れながら、新たな流れを創出していく。